

能 真双会

第53回 能と狂言の鑑賞会

# 義経経夢幻

YOSHITSUNE MUGEN

お話 能はどのように「義経」を造形したか

林 望

狂言 こうじ 柑子

野村 万作

能 やしま・ゆみながし・なすのよいちのかたり 屋島 弓流・奈須與市語

坂 真太郎

令和8年 10月18日(日)午後1時開演 千駄ヶ谷 国立能楽堂

# 義経夢幻

今年、五十三回目を迎える当会では、能『屋島』を中心に、源義経に因んだ作品を集め、「義経夢幻」と題してご覧頂きます。

## 狂言 柑子 こうじ

ひとつの枝に三つ生る柑子（在来ミカンの一種）は珍しく、吉兆の印ともされてきました。主人が太郎冠者に預けた三つ生りの柑子を出すように言いつけると、主人に隠れて食べてしまった太郎冠者は、「ほぞが抜けた」「つぶれた」と言い訳します。「残りのひとつは」と問われた太郎冠者は、『平家物語』所縁の作品です。

## 能 屋島 やしま

春の夕暮れ、讃岐・屋島を訪れた都の僧は、若い男を伴った老漁夫に宿を借ります。老人は、義経の華やかな姿や景清らの鏝引き、佐藤継信の討死など、屋島での源平合戦の様子を我が事のように語り、自らが義経の亡霊であると仄めかして姿を消します。やがて夢に現れた武者姿の義経は、海に落とした弓を苦心して拾い上げた「弓流」を詳しく語り、修羅道の苦しみを見せ、夜明けとともに消えていきます。

義経がシテとして登場する唯一の能『屋島』を、今回は「弓流」「奈須與一語」の小書をつけて上演。「弓流」では後シテが小鼓の演奏に合わせて、弓に見立てた扇を取り落とす型を演じます。「奈須與一語」では、「扇の的」の話を、間狂言が義経や奈須與一らを演じ分けて語る趣向が見どころです。世阿弥作とされ、義経の栄光と哀しみを描く修羅能の名作として親しまれ、見応えのある作品です。

### 番組

お話

能はどのように「義経」を造形したか

(三十分) 林望(作家・国文学者)

仕舞(観世流)

## 橋辨慶

## 鞍馬天狗

## 安宅

## 柑子

## 屋島

## 奈須與市語

シテ	坂 真太郎	シテ	野村 万作	シテ	坂 真太郎	シテ	野村 万作	シテ	坂 真太郎	シテ	野村 万作
ツレ	谷本 健吾	ツレ	野村 万作	ツレ	坂 真太郎	ツレ	野村 万作	ツレ	坂 真太郎	ツレ	野村 万作
ワキ	福王 和幸	ワキ	野村 万作	ワキ	坂 真太郎	ワキ	野村 万作	ワキ	坂 真太郎	ワキ	野村 万作
ワキツレ	矢野 昌平	ワキツレ	野村 万作	ワキツレ	坂 真太郎	ワキツレ	野村 万作	ワキツレ	坂 真太郎	ワキツレ	野村 万作
アイ	深田 博治	アイ	野村 万作	アイ	坂 真太郎	アイ	野村 万作	アイ	坂 真太郎	アイ	野村 万作
小鼓	田邊 恭資	小鼓	野村 万作	小鼓	坂 真太郎	小鼓	野村 万作	小鼓	坂 真太郎	小鼓	野村 万作
大鼓	亀井 広忠	大鼓	野村 万作	大鼓	坂 真太郎	大鼓	野村 万作	大鼓	坂 真太郎	大鼓	野村 万作
地頭	観世 喜正	地頭	野村 万作	地頭	坂 真太郎	地頭	野村 万作	地頭	坂 真太郎	地頭	野村 万作
主後見	奥川 恒治	主後見	野村 万作	主後見	坂 真太郎	主後見	野村 万作	主後見	坂 真太郎	主後見	野村 万作
狂言後見	高野 和憲	狂言後見	野村 万作	狂言後見	坂 真太郎	狂言後見	野村 万作	狂言後見	坂 真太郎	狂言後見	野村 万作

終演予定 午後4時

上演中の撮影・録音は固くお断り致します。未就学児のご入場はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。やむを得ぬ事情により出演者、演目等に変更が生じる場合は何卒ご了承下さい。

令和8年 10月18日(日) 午後1時開演(正午開場)

千駄ヶ谷 国立能楽堂 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

入場料	正面	: 8,500円
(全席指定・税込)	脇・中正面	: 6,000円
	学生GB席	: 2,500円

前売開始 7月31日(金)

入場券のお求めは主催者または下記へ

## カンフェティ

WEB予約 [http://confetti-web.com/@/shinsokai\\_2026](http://confetti-web.com/@/shinsokai_2026)

電話予約 050-3092-0051 カンフェティチケットセンター (受付時間 平日10:00~17:00)

主催

## 真双会

〒110-0003  
東京都台東区根岸5-11-5  
TEL 03-3873-5404  
FAX 03-3873-5635

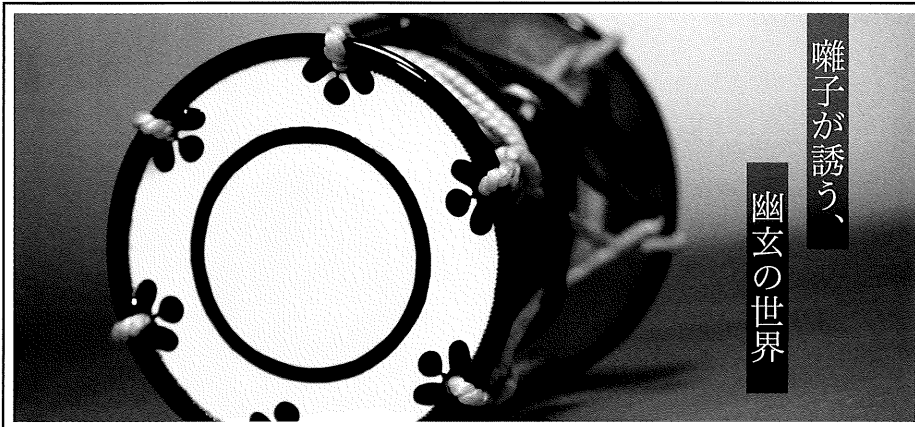
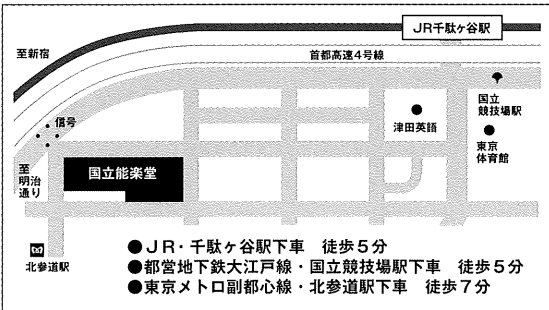
<https://shinnohsho.net/>  
[info\\_shinnoh@yahoo.co.jp](mailto:info_shinnoh@yahoo.co.jp)

郵便振替口座 00160-9-606000 真双会



坂 真太郎 (ばん しんたろう)

能楽師シテ方観世流。昭和47年生。故坂 真次郎の長男。三世 観世喜之師に師事。公益社団法人観世九事会会員。公益社団法人 能楽協会 東京支部常議員。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。安宅賞を受賞。昭和50年の初舞台以来、これまでに『石橋』『狸々乱』『道成寺』『望月』『安宅』『翁』等を披露。平成 15年 皇居・桃華楽堂で御前演奏。台東区アートアドバイザー・たいとう観光



雛子が誘う、

幽玄の世界

この国の佳き伝統とともに  
宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店  
創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売  
[www.miyamoto-unosuke.co.jp](http://www.miyamoto-unosuke.co.jp)